

めざす学校像(開かれた学校)

- KAGAYAKI コミュニティ・スクールで学校の取り組みを熟議し、地域コーディネーターを通じて地域人材を学校教育に生かす。
- 生徒が第一中学校区の青少年対策地区委員会主催による「1212(じゅうにじゅうに)まつり」へ参加し、地域の方との触れ合いや体験の中で社会性を身に付ける。
- SDGsのターゲット16「平和と公正をすべての人に」をとらえて、本校の総合的な学習の時間の探究課題を**平和教育**とし、青少年対策地区委員会との共催によるLGBTQの学習を通して差別のない社会を探究する。
- 紙媒体を削減してホームページやウェブ配信、SNSを適切に活用することを通して学校の情報を家庭や地域へ積極的に公衆送信する。
- 福祉事業所や青少年対策地区委員会と連携して運動会や合唱コンクールに地域の資源を導入し、地域と一体となった学校行事に取り組む。
- 社会で活躍する同窓生の協力の下で学校施設等の学習環境を整備し、数十年経っても集える魅力ある学校をつくる。

めざす生徒像(主体的に学び、深く考える生徒)

- 一斉授業に代表されるそろえる教育から個別最適な学びへ授業を改善する(**自由進度学習**)。
- 形成的評価に重点をおき思考の深まりを支援する(中間考査を廃止して単元テストを導入)。
- **一中シエスタ**(読書活動の充実のために昼休みを読書タイムに充てて読解力の向上を図る)を導入する。
- **チャームを縮減**(時間を守ることへの自覚を促す)し、生徒に行動規範の責任をもたせる。
- 一中校区の小学校での取り組みを生かして**一中給食スタンダード**(残菜を減らし自然の恵みへ感謝する)を導入する。
- 生徒会が中心となり**標準服の自由化**と**生活のきまりの見直し**を検討し、生徒のウェルビーイングを実現する。
- 総合的な学習の時間の探究課題を**平和教育**として校外学習や移動教室、修学旅行のねらいをとらえ直し、生徒の深く考える力を醸成する。

めざす教育を家庭と地域が共有

創立80周年の伝統を生かして、

校訓
自覚と責任
SINCE 1948

生徒の特性に基づく多様な学習活動

幸福な人生を切り拓く子供を育む。

めざす教員像(子供の力を伸ばす教員)

- 東京教師道場や教育研究委員等で研修する教員の学びを校内研修の中で他の教員へ還元する。
- 東大和市教育開発研究指定校(2年間)を拝命し、自由進度学習に取り組むことによって生徒の学力の向上につなげる。
- **一中教師道場**を開設し、若手教員の授業力の向上を図る。
- 全教科でロイロノートを導入し、生徒の主体的な学びを定着させる。
- チョーク&トークの授業を脱却し、教員のティーチングとコーチング、ファシリテーションのバランスを向上する。
- 障害者差別解消法を踏まえて合理的な配慮に努め、一人一人の生徒の教育的ニーズに沿った学びを実践する。
- 通常の学級と特別支援学級の職員室を統合し、困り感や特性のある生徒の理解を深める。

働き方改革の継続を通して教員の勤務への意欲を高める

- オフィス家具製造会社と連携した合理的な職員室の環境を整備することにより効率的な業務の動線を生み出す。
- 部活動の朝練習を廃止し、生徒(と家庭)・教員の疲労を軽減する。
- 教員の業務のICT化により紙・印刷機の費用や印刷時間・配布時間を縮減し、効率的且つ効果的な業務を実現する。
- **Anniversary 休暇**を設定し、年次有給休暇の取得への心労を解消する。
- **超過勤務時間の45時間未満/月**を実現する。